

◎ 中学・高校生の職場体験学習

当組合は中学生や高校生を対象にした職場体験学習に協力しています。令和6年度は8月に竹原支店、安浦支店、廿日市支店の3店舗で実施し、合計5名を受け入れました。竹原支店では8月6日(火)より3日間、広島県立竹原高等学校の生徒2名を受け入れ、お札の数え方、決算書登録などの業務を体験していただきました。また、安浦支店では、8月20日(火)より2日間、呉市立安浦中学校の生徒1名を受け入れ、後方事務や入出金等の端末オペレーションなどの業務を経験していただきました。さらに、8月27日(火)より2日間、廿日市市立廿日市中学校の生徒2名を廿日市支店で初めて受け入れ、窓口対応や電話応対などを実習していただきました。

参加した生徒から「今まで金融機関に縁がなかったが、とても楽しい仕事でした」のコメントがありました。

これからも次代を担う若者たちのキャリア形成の視野を広げ、将来の進路選択に役立つ機会を提供していきます。



安浦支店



竹原支店

◎ 大学生のインターンシップの受け入れ

産学連携の取り組みとして、毎年インターンシップの学生を受け入れています。令和6年度は8月に広島市内の大学生や短大生の計3校、27名を受け入れ、3日間の研修を実施しました。本部で当組合の概要と業務、本店・本部内の見学、DVDの視聴、コンプライアンスやビジネスマナーを研修し、営業店では6店舗に分かれて朝礼、接客の実務、得意先係との同行訪問などを実習していただきました。さらに1校のみ2日間延長して、窓口業務、決算書の登録や金融機関の格付取得の意義について説明しました。参加学生には、元気に挨拶すること、業務の確認作業、お客さまとの信頼関係づくりなど地域金融機関として当たり前の日常業務も体験していただきました。これらの研修を通じて、将来の地域を担う人材が育つことを期待しています。



◎グラウンド・ゴルフ大会に向洋支店、東雲支店協力

令和6年5月15日(水)、向洋支店が主催する「第28回グラウンド・ゴルフ大会」を広島市東部浄化センター運動広場(広島市南区)で開催しました。今回の会場は例年の町なかの公園と異なり海田大橋、浄化施設と港に囲まれた一角にあり、参加者にとってはプレーに集中できる環境です。暖かい天候に恵まれ、フラットなグラウンドということもあり、総勢79名の参加者は気持ちよくプレーを楽しみました。また、7月20日(土)には東雲支店が協賛する「第11回グラウンド・ゴルフ交歓大会」が東雲本町公園(広島市南区)で開催されました。梅雨シーズンということもあり、夜中から雨が降りましたが、大会が始まる頃にはすっかり雨も止み、予定通りに行われました。セミの声にも負けないほど、96名の参加者の大きな声援や笑い声が、グラウンドにあふれる楽しい大会でした。これからも地域を応援する取り組みを積極的に行っていきます。



◎模擬就職面接に竹原支店協力

令和6年9月6日(金)、竹原商工会議所(竹原市)が主催する模擬就職面接に協力し、竹原支店長が面接官を務めました。これは地元の高校生の活躍を地域で後押しする取り組みで、広島県立竹原高等学校3年生の10名が面接に臨みました。面接は高校生1名に対し面接官2名が対応する形で行われ、模擬面接後に感想やアドバイスなどをフィードバックし、質疑応答も行いました。面接官を担当した支店長は3名と面談し、「20分間で初対面の大人を相手に、自身のことをしっかり伝えようとする意欲を十分に感じました。今日の経験を活かして就職試験に臨んでほしい」と感想を述べています。高校生の就職希望者は少子化と進学希望者増加により、減少傾向にあるため、人手不足の地場企業は採用意欲が高まっています。これからも、将来の地域を支える若い世代の育成に協力していきます。



◎広陵高校の応援懸垂幕を安支店に掲示

第106回全国高等学校野球選手権大会で甲子園の出場を決めた広陵高等学校(広島市安佐南区)を応援するため、安支店ではお祝いの懸垂幕を令和6年7月29日(月)に掲げ、地元の皆さんと一緒に喜びを分かち合いました。8月7日(水)からの本大会は、出場選手や観客の暑さ対策として、午前の部と夕方の部に試合を分ける2部制や、クーリングタイムが導入されました。猛暑のなか、選手たちのハツラツとしたプレーやスタンドで精一杯応援する学生の皆さんの姿に感動しました。

これからも皆さんとともに地域の活性化を応援していきます。



◎ 令和6年度江波漕伝馬に江波支店協力

厳島神社の「管絃祭」は毎年旧暦の6月17日に行われ、今年は令和6年7月22日(月)に催されました。御座船を曳航する江波漕伝馬船に乗込むため江波支店の職員は約1か月の間、櫂の漕ぎ方や盆踊りを練習して、祭りに臨みました。祭りの始まりは前日7月21日(日)の「川上り」から。舟歌を口ずさみながら江波沖から出発し、本川を上って川沿いの神社で安全を祈願し、原爆ドーム前では黙とうを行いました。そして、本番の管絃祭では荘厳な雰囲気包まれたなか、早朝から夜中までの長い一日を地域の皆さんと過ごしました。参加した職員は「親子2代、3代で参加してきたという漕ぎ手の方々とふれあうことで、文化を伝え残していくことの重要性を再認識しました」とコメントしています。広島市の重要無形文化財に指定され、また水産庁主催「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に県内で唯一選ばれた「江波漕伝馬」。地域に根差した伝統文化が末永く地域に愛され受け継がれていくことを願っています。



◎ コイン通り商店街秋夜市に五日市支店協力

造幣局に面した約1.5kmの通称コイン通り(広島市佐伯区五日市)で、令和6年9月21日(土)、「コイン通り商店街秋夜市」が夕方から開催され、五日市支店の職員3名が協力しました。「ゆかたの着納めしん祭」と銘打っていることもあり、当日は浴衣姿の人たちで商店街はにぎわいました。職員はメイン会場の中央第一公園で行われた縁日イベントの射的ブースを担当するなど、祭りの運営のお手伝いに汗を流しました。また昨年11月に移転オープンした五日市支店では駐車場が様々なパフォーマンスを披露する会場となり、大いに盛り上がりしました。今後も、地元の皆さんと協力しながら、地域の活性化に貢献していきます。



◎ 二百廿日豊年市民祭に廿日市支店協力

秋の訪れを感じる廿日市市の風物詩「二百廿日豊年市民祭」が、令和6年9月14日(土)、メイン会場の廿日市中央市民センターを中心に、周辺の天満宮や商店街で行われました。各所で幅広い年代の方が楽しめるイベントが催され、屋台もズラリと並び、多くの人でにぎわいました。廿日市支店は商店街角地の好立地にあり、支店の駐車場を駐輪場として提供するとともに、支店職員2名は子どもたちに税金についてのクイズを配布し、正解用紙と参加賞を渡すブースをお手伝いしました。多くの顔なじみの方も訪れ、にぎやかに楽しく交流しました。これからも地域を盛り上げる取り組みに協力していきます。



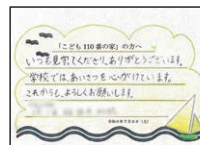
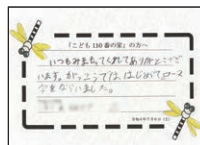
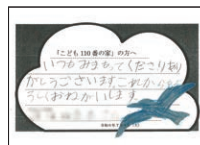
◎ こども110番の家スタンプラリーに出島支店協力

令和6年7月6日(土)、「こども110番の家」スタンプラリーが開催され、出島支店が協力しました。この催しはふれあいを通して子どもたちが「こども110番の家」の場所を確認するイベントです。ラリー区域は広島市立宇品小学校の学区内で、昨年は雨天中止だったので、2年ぶりに行われました。当日は9名の子どもたちが感謝の手作りカードを店頭で待機している職員に贈呈しました。そのお返しに、事前に用意された怪獣と星型の2種類のシールから、職員が希望のシールをスタンプ帳に貼りました。

子どもたちからいただいた手作りのカードは、支店の宝物として大切に保管しています。これからもより良い地域環境のために積極的に協力していきます。



子どもたちから届いたお礼のお手紙



いなり ◎ 稲生神社夏まつりに駅前支店協力

令和6年7月25日(木)、26日(金)、稲生神社(広島市南区)で夏まつりが行われ、駅前支店の職員が協力しました。稲生神社横の道路を歩行者専用道路とし、飲食、ゲーム、福引き、夜店などが行われ、近隣からも多くの人々が訪れてにぎわいました。

初日はステージイベントの設営・運営、子ども向けのゲーム運営と、福引きコーナーを担当。2日目は全職員が参加し、現在もなお現役のボンネットバスの無料試乗会などに協力しました。参加した職員全員、揃いの青いスタッフTシャツを着てお手伝いし、多くの顔なじみの方との深耕を深め、地域とつながることの大切さを再認識しました。これからも地域の活性化に積極的に協力していきます。



◎ 夏を告げる新庄夜市に大朝支店協力

令和6年7月20日(土)、北広島町で恒例の「第41回新庄夜市」が開催され、大朝支店の職員も参加し、祭りの盛り上げに協力しました。新庄学園通り300mの区間を車両通行止めにし、通りに接する新庄学園の駐車場をメイン会場に、たくさんの屋台が並びました。通りの入口には夜市のシンボルの巨大ちょうちんが掲げられ、ステージでは新庄学園の学生による吹奏楽、ダンス、書道、美術、軽音楽があり、新庄はやし田やミュージックステージも催されました。

参加した支店職員は、「わさまち、夜市、鯖祭りなどのイベントがあると町の人口が増えて活気がでます。集まる、顔を合わせる行事を大切にしたい」と参加の意義を述べています。大朝地区を代表するこの夏祭りは、地域の人の心をつなぐ大切な催しです。

これからも地元に関わり、地域おこしに協力していきます。

